

平成 24 年(1~12 月)冷凍食品の生産・消費について

一般社団法人日本冷凍食品協会

1. 国内生産

(1) 総論

当協会調べによる平成 24 年(1~12 月)のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が 1,468,345 トン(対前年比(以下、同じ)103.6%)、金額(工場出荷額)が 6,392 億円(101.5%)であった。数量は平成 22 年から 3 年連続増加した。金額も 2 年連続増加した。

内食志向の強まりにより家庭用が伸長したことや中食の需要も堅調に推移したことのほか、東日本大震災による被害からの回復が主な要因となった。

表—1

年		工場数		企業数		数量		金額	
			対前年比		対前年比	(トン)	対前年比	(億円)	対前年比
平15年	2003	840	93.6%	693	94.4%	1,496,690	100.8%	6,795	96.4%
16年	2004	819	97.5%	677	97.7%	1,526,625	102.0%	6,730	99.0%
17年	2005	816	99.6%	671	99.1%	1,539,009	100.8%	6,692	99.4%
18年	2006	778	95.3%	641	95.5%	1,545,204	100.4%	6,656	99.5%
19年	2007	746	95.9%	613	95.6%	1,527,564	98.9%	6,662	100.1%
20年	2008	731	98.0%	596	97.2%	1,471,396	96.3%	6,662	100.0%
21年	2009	647	88.5%	533	89.4%	1,396,035	94.9%	6,365	95.5%
22年	2010	599	92.6%	488	91.6%	1,399,703	100.3%	6,284	98.7%
23年	2011	572	95.5%	463	94.9%	1,417,907	101.3%	6,300	100.3%
24年	2012	523	91.4%	429	92.7%	1,468,345	103.6%	6,392	101.5%

(2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が 886,137 トン(102.5%)で 2 年連続増加し、金額が 5 年ぶりに僅かながら増加に転じ、3,703 億円(100.2%)となった。

一方、家庭用は、数量が 582,208 トン(105.2%)、金額が 2,689 億円(103.3%)となり、数量、金額ともに 3 年連続して増加し、いずれも過去最高となった。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ 60.3%、39.7%(前年 61.0%、39.0%)、金額ベースでは 57.9%、42.1%(前年 58.7%、41.3%)となり、さらに家庭用の比率が高まった。

表—2 数量

年		業務用			家庭用		
		(トン)	対前年比	構成比	(トン)	対前年比	構成比
平15年	2003	1,002,531	97.7%	67.0%	494,159	107.7%	33.0%
16年	2004	999,563	99.7%	65.5%	527,062	106.7%	34.5%
17年	2005	988,879	98.9%	64.3%	550,130	104.4%	35.7%
18年	2006	973,203	98.4%	63.0%	572,001	104.0%	37.0%
19年	2007	983,339	101.0%	64.4%	544,225	95.1%	35.6%
20年	2008	945,556	96.2%	64.3%	525,840	96.6%	35.7%
21年	2009	886,898	93.8%	63.5%	509,137	96.8%	36.5%
22年	2010	859,342	96.9%	61.4%	540,361	106.1%	38.6%
23年	2011	864,303	100.6%	61.0%	553,604	102.5%	39.0%
24年	2012	886,137	102.5%	60.3%	582,208	105.2%	39.7%

表—3 金額

年		業務用			家庭用		
		(百万円)	対前年比	構成比	(百万円)	対前年比	構成比
平15年	2003	449,051	95.8%	66.1%	230,411	97.6%	33.9%
16年	2004	437,339	97.4%	65.0%	235,693	102.3%	35.0%
17年	2005	431,697	98.7%	64.5%	237,458	100.7%	35.5%
18年	2006	419,729	97.2%	63.1%	245,837	103.5%	36.9%
19年	2007	424,644	101.2%	63.7%	241,597	98.3%	36.3%
20年	2008	418,045	98.4%	62.7%	248,167	102.7%	37.3%
21年	2009	395,952	94.7%	62.2%	240,510	96.9%	37.8%
22年	2010	373,427	94.3%	59.4%	254,945	106.0%	40.6%
23年	2011	369,741	99.0%	58.7%	260,300	102.1%	41.3%
24年	2012	370,297	100.2%	57.9%	268,937	103.3%	42.1%

(3) 品目別

大分類の品目別生産量では、国内生産の85%を占める調理食品(103.6%)、菓子類(111.0%)が増加し、水産物(100.1%)はほぼ横ばい、農産物(97.2%)が減少した。調理食品のうち「フライ類以外の調理食品」は104.6%、「フライ類」は101.1%となった。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、スパゲティ(5,384トン増、114.6%)、うどん(4,903トン増、103.2%)、ギョウザ(4,374トン増、110.8%)、ピザ(3,831トン増、125.1%)などであった。

逆に減少量が大きかったのは、カツ(3,092トン減、93.9%)、えび類(2,703トン減、77.8%)、ポテト(2,381トン減、93.1%)などであった。(但し、「その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位20品目をみると、1位のコロケと2位のうどんは15万トン以上を維持し、8位までの順位は前年通りであった。9位以降は、今回の品目見直し(ラーメンの新設)とポテトが10位から14位に落ちた以外は大きな変動はみられない。

表—4

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計	
						フライ類	フライ類以外	小計			
数量	(トン)	業務用	34,308	77,684	5,274	252,540	474,058	726,598	42,273	886,137	
		家庭用	16,140	19,527	1,593	82,417	445,930	528,347	16,601	582,208	
		合計	50,448	97,211	6,867	334,957	919,988	1,254,945	58,874	1,468,345	
	構成比率	業務用	68.0%	79.9%	76.8%	75.4%	51.5%	57.9%	71.8%	60.3%	
		家庭用	32.0%	20.1%	23.2%	24.6%	48.5%	42.1%	28.2%	39.7%	
		合計	100.1%	97.2%	203.8%	101.1%	104.6%	103.6%	111.0%	103.6%	
	前年比	業務用	88.8%	97.5%	202.4%	100.8%	104.5%	103.2%	107.5%	102.5%	
		家庭用	137.3%	95.8%	208.5%	101.9%	104.7%	104.2%	121.0%	105.2%	
		合計	100.1%	97.2%	203.8%	101.1%	104.6%	103.6%	111.0%	103.6%	
	金額	(百万円)	業務用	29,025	19,801	4,044	103,333	187,143	290,476	26,951	370,297
			家庭用	13,368	8,003	1,171	53,553	184,790	238,343	8,052	268,937
			合計	42,393	27,804	5,215	156,886	371,933	528,819	35,003	639,234
構成比率		業務用	68.5%	71.2%	77.5%	65.9%	50.3%	54.9%	77.0%	57.9%	
		家庭用	31.5%	28.8%	22.5%	34.1%	49.7%	45.1%	23.0%	42.1%	
		合計	95.1%	93.9%	172.6%	99.5%	102.0%	101.3%	114.0%	101.5%	
前年比		業務用	83.6%	93.5%	168.6%	99.9%	102.1%	101.3%	109.2%	100.2%	
		家庭用	135.9%	94.9%	188.3%	98.8%	102.0%	101.3%	133.6%	103.3%	
		合計	95.1%	93.9%	172.6%	99.5%	102.0%	101.3%	114.0%	101.5%	

2. 輸入

(1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による24年(1~12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は、952,041トン(105.9%)、金額は、1,331億円(110.8%)、いずれも3年連続で増加し、過去最高となった。

輸入が増えた主な品目としては、ポテト(24,352トン増、106.7%)、ブロッコリー(4,700トン増、115.0%)、コーン(1,749トン増、103.7%)などであった。

主な輸入先である中国(14,088トン増、103.8%)、アメリカ(27,752トン増、108.2%)、タイ(1,047トン増、102.2%)、台湾(2,183トン増、107.2%)は増加したものの、カナダ(5,413トン減、84.3%)は減少した。

表—5

年	数量		金額	
	トン	対前年比	百万円	対前年比
平15	679,795	94.8%	93,406	90.9%
16	761,348	112.0%	99,609	106.6%
17	786,507	103.3%	107,269	107.7%
18	831,880	105.8%	122,923	114.6%
19	821,128	98.7%	125,981	102.5%
20	770,563	93.8%	111,140	88.2%
21	760,997	98.8%	104,698	94.2%
22	829,406	109.0%	111,693	106.7%
23	899,356	108.4%	120,178	107.6%
24	952,041	105.9%	133,104	110.8%

(2) 調理冷凍食品

24年の調理冷凍食品輸入量は、280,313トン(113.8%)、金額は1,228億円(112.6%)となり、数量、金額ともに3年連続して増加した。

業務用と家庭用で分けてみると、いずれも増加し、業務用は、245,419トン(115.3%)、家庭用は34,894トン(104.1%)となった。

国別では、中国(18,251トン増、112.5%)、タイ(23,594トン増、130.5%)が増加したため全体の輸入量を押し上げた。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている32社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表—6

品目	数量 (トン)				金額 (百万円)				
	平成23年	平成24年			平成23年	平成24年			
	合計	業務用	家庭用	合計	合計	業務用	家庭用	合計	
フライ類	畜産	-	107,212	14,051	121,263	-	41,030	6,519	47,549
	水産	-	74,269	2,097	76,366	-	33,677	1,349	35,026
	その他	-	18,844	5,116	23,960	-	7,735	2,527	10,262
	合計	182,258	200,325	21,264	221,589	78,869	82,441	10,396	92,837
対前年比	-	123.5%	106.1%	121.6%	-	119.8%	103.2%	117.7%	
フライ類以外	54,592	45,094	13,630	58,724	22,975	21,959	8,003	29,962	
対前年比	-	89.1%	101.3%	91.7%	-	101.4%	93.9%	99.3%	
合計	246,330	245,419	34,894	280,313	109,048	104,401	18,398	122,799	
対前年比	-	115.3%	104.1%	113.8%	-	115.4%	98.9%	112.6%	

3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

24年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,468,345 トンに、冷凍野菜輸入量 952,041 トンと、調理冷凍食品輸入量 280,313 トンを加えた 2,700,699 トン(105.3%)であった。これを総人口(127,515 千人)で割った国民1人当りの年間消費量は、21.2 キログラム(1.1 キログラム増、105.4%)となった。

冷凍食品の総消費量及び1人当たりの消費量は、3年連続増加し、過去最大であった平成18年(2,692,520 トン)を上回った。

なお、上記のように調理冷凍食品輸入量については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると実際の「消費量」は270万トンを上回るものと考えられる。

表—7 数量

		国内生産量 (トン)	冷凍野菜 輸入量 (トン)	調理冷凍 食品輸入量 (トン)	合計(消費量)		国民1人 当り消費量 (kg)
					(トン)	(トン)	
平15年	2003	1,496,690	679,795	222,825	2,399,310	100.1	18.8
16年	2004	1,526,625	761,348	259,433	2,547,406	106.2	20.0
17年	2005	1,539,009	786,507	291,098	2,616,614	102.7	20.5
18年	2006	1,545,204	831,880	315,436	2,692,520	102.9	21.1
19年	2007	1,527,564	821,128	319,796	2,668,488	99.1	20.9
20年	2008	1,471,396	770,563	232,224	2,474,183	92.7	19.4
21年	2009	1,396,035	760,997	201,826	2,358,858	95.3	18.5
22年	2010	1,399,703	829,406	227,618	2,456,727	104.1	19.2
23年	2011	1,417,907	899,356	246,330	2,563,593	104.3	20.1
24年	2012	1,468,345	952,041	280,313	2,700,699	105.3	21.2

表—8 金額

		国内生産額 (百万円)	冷凍野菜 輸入額 (百万円)	調理冷凍 食品輸入額 (百万円)	合計	
					(百万円)	対前年比 (%)
平15年	2003	679,462	93,406	92,380	865,248	97.0
16年	2004	673,032	99,609	114,030	886,671	102.5
17年	2005	669,155	107,269	131,800	908,224	102.4
18年	2006	665,566	122,923	140,040	928,529	102.2
19年	2007	666,241	125,981	145,940	938,162	101.0
20年	2008	666,212	111,140	111,160	888,512	94.7
21年	2009	636,462	104,698	91,587	832,747	93.7
22年	2010	628,372	111,693	92,736	832,801	100.0
23年	2011	630,041	120,178	109,048	859,267	103.2
24年	2012	639,234	133,104	122,799	895,137	104.2

《別添資料》

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当り金額
4. 国内生産量上位20品目(平成20～24年推移)
5. 日本の冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 日本の調理冷凍食品輸入
7. 日本の調理冷凍食品輸入(平成15～24年推移)

《問い合わせ先》

一般社団法人 日本冷凍食品協会

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目17番9号 興和日東ビル4階

担当：総務企画部企画調査課 梶田

TEL:03-3541-3003

FAX:03-3541-3012

E-mail:kajita@reishokukyo.or.jp